

高 各高の開拓者たち ～活躍する各高卒業生～
第03号 平成30年 5月18日(金)

★★平成24年度卒業生 東條亘さん（愛知工業大学卒）です。★★

平成24年度に各務原高校を卒業した東條亘です。今回は卒業してから進学、就職、転職を経験して現在に至るまでの進路についてお話したいと思います。これから自分の進路を考える方の参考になれば幸いです。

【部活動中心の高校生活】

私は小学生から野球を始めました。中学では軟式のクラブチームに入り、高校では硬式野球部に入部しました。私の代の野球部の目標は甲子園出場でした。



※野球部の仲間と

野球をやっている時はとても楽しく、無我夢中で練習に励んでいました。日々の練習や週末に行われる練習試合から自分たちの弱点や勝つために必要なことは何かを話し合いました。厳しい練習やなかなか結果が出ない苦しい時もありましたが、野球をやっている時はとにかく楽しくて熱中していました。私は勉強が苦手でした。しかし高校生の本業は学業です。勉強と部活を両立しなければなりません。部活動に全力で打ち込むために勉強も必死に頑張れたと思います。3年生になり高校生活ではほとんど部活動に打ち込んでいた私ですが、進路を考える時期になりました。自分の将来について真剣に考えたのはこの時が初めてだと思います。私は昔から物を作るこ

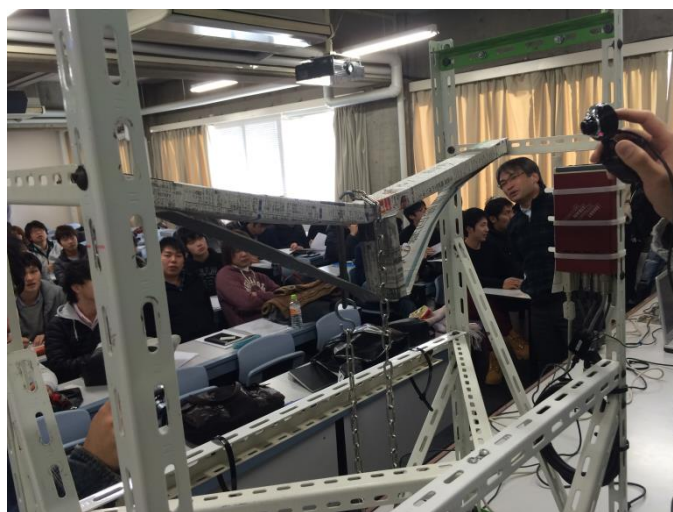
とが好きでした。担任の先生や友人、家族と話をし将来は自分の好きなことを生かした仕事をしたいと考えました。そこで愛知工業大学に進学しました。

【自由が増えた大学生活】

大学は4年制大学で土木工学を専攻しました。高校生活と比べて自由に使える時間が増えて友人と旅行に行ったりアルバイトも始めました。大学生になって感じたことは今までよりも自分にかかる責任が大きくなったことです。高校までは授業の時間割は決められていましたが大学では自分の時間割は自分で決めることができます。より積極的に自分が興味のあることを学ぶことができます。高校の時は無断で遅刻や欠席をすると連絡がかかって決めますが大学では誰も連絡してくれません。このように良くも悪くも今までより多くの責任が自分にかかってきます。

私は物を作る仕事に興味があり、大学に進学しましたが大学の授業の中でも多くの経験ができたと思っています。下の写真は新聞紙と水のりのみを使って橋を作り、重量と強度で橋の耐久力を競った時の写真です。5人1チームでグループの仲間と試行錯誤を繰り返しながら橋を作りま

した。いくつか失敗しては作り直してを繰り返し納得のいくものを完成させました。



※ブリッジコンテストの様子

他にも測量実習や実験など協力しなければできない貴重な経験を多くできたと思っています。新たな友人が増えて自分の好きなことに没頭できた大学生活はとても充実していました。

【就職】

私は大学を卒業して建設会社に入社しました。高校時代から物作りが好きで、大学で学んだことを生かした職業です。道路や橋梁、河川、など公共物を作ることが多かったです。仕事を始めてみて、一つの工事に多くの人関わっていることを知りました。私の業務は測量や材料の発注、写真管



※河川工事の完成風景

理、安全管理をしていました。初めて担当した現

場は駐車場の拡張工事でした。先輩社員に教えてもらいながら現場監督の仕事を覚えていきました。最初はわからないことが多く苦労した記憶があります。しかし次第に工事が完成に近づくとつれて、自分の仕事の成果が目に見える形で実感できてとても感動したことは今でも覚えています。工事現場の近くの住民に話しかけられたことがあります。よく散歩をしている方で作業をしていると声をかけられました。「いつも頑張ってるね。ありがとう。」と言われました。近隣住民の方の感謝の声を聞くことでますます仕事を頑張ろうと思えました。

【転職】

私は現場監督の仕事をして一年ほど経過し転職を考え始めました。理由はいくつかありますが一番大きな理由は自分の生まれ育った町で仕事がしたいと思ったからです。私は各務原市出身でこの町が好きです。現場監督は工事が発注されて、受注できたら工事ができます。工事はいろいろな場所で発注されます。会社が利益を上げるためにはいろいろな場所で工事を受注する必要があります。そのため遠い場所で仕事をすることも多かったです。私は各務原市で物作りをして

地域の発展に貢献したいと考えました。

転職することを考え始めてから多くの人に相談して意見をもらいました。そして自分の中で今後どうしたいか考えがまとまりました。まず一つ目は物を作る仕事はしたいということです。これまで経験してきたことは転職先でも生かして物作りがしたいと思いました。もう一つは自分の生まれ育った町で仕事をしたいと思いました。そこで私は各務原市役所で働きたいと思いました。この考えが決まってからどんな試験があるのか、試験の内容は何ができるのか、採用人数は何人のかなど公務員試験に必要な情報を集めて対策を練りました。現場監督の仕事をしながらか試験の勉強をされていてとてもきつかったです。しかし自分で決めたことなので最大限努力することにしました。昔から勉強は苦手でしたがどうしても各務原市で仕事がしたいという一心で頑張れたと思います。

試験は1次試験の筆記試験をなんとか合格し、2次試験の面接も無事に合格して各務原市の採用試験に合格できました。

【現在】

私は現場監督として2年間働き今年4月から各務原市役所で働き始めました。下水道課に配属されて下水道工事の発注や窓口対応、住民説明会をしています。また1年目はいろいろな研修が自分の業務とは別にあります。自分を成長できるチャンスなので大切にしています。まだ市役所に入庁して1か



※新人研修のグループワーク

月ほどしかたっておらずわからないことが多くありますが上司や先輩に教えてもらいながら仕事を覚えています。早く多くの仕事を覚えて各務原市の発展に貢献したいと思っています。

【最後に】

私は最初大学への進学を検討していた際、建築学科しか考えていませんでした。しかし担任の先生と進路について話をしている中で土木学科でも自分のやりたいことができることに気が付きました。進路のことはもちろん自分の夢ややりたいことなどは、自分一人で悩んでいるよりも人に話したほうが知らない情報があったり自分がどうしたいのかが見えてくると思います。自分が決めた目標に向かって自分が、それまでに最高の準備ができればきっと後悔はしないと思います。最高の準備とは情報をかき集めることだったり、目標に向かって何をどのくらいいつまでにやるだとかそういった計画を考えることも必要です。自分のやりたいことなどどんどんチャレンジしてほしいと思います。

最後まで読んでいただきありがとうございました。皆様の今後のご活躍お祈り申し上げます。